（二日夕刊）

（大正十四年二十二日第三種郵便物認可）　昭和四年七月三日　磐城新聞　［水曜日］　第二千五百七十四號（一）

高月集（第十三輯）（下）

雨　若楓

若楓美しう風なふりけり　一夢

鼓打つ音も聞えて若楓　松堂

うごまげの姿にはばし若楓　江亭

夕風るなよくや雨後の若楓　天仙

若楓縁に文よむ女あり　霧笛

若楓雨にぞこまいそゆか那　曉美

若楓國寶の鐘ひびきもち　天仙

若楓影うつりけり金魚鉢　滿壽壯

神燈燦として綠美し若楓　江亭

滝の光る紅き楓の若葉かな　霧笛

ぬれ色に旭のきらめくや若楓　滿壽壯

朝々や露に際立つ若楓　萬袋

若楓汽車裏然と峡に入る　天仙

雨晴れて色に出てにけり若楓　江亭

若楓築山陰に燃ねさかる　閑月

同　翡翠

川蟬の影倒や水の面　閑月

川蟬や水にやせたる杭の先　天仙

翡翠の來てゐる雨の柳かな　滿壽壯

翡翠の長く影引く水縁　霧笛

川せめや柳の下のさゝ流れ　江亭

川蟬の來て焚斷を犯しけり　萬袋

川蟬や人眠るにの船へも　閑月

川蟬のたそがれ顔や捨小舟　天仙

川蟬や杭四五本の向岸　松堂

翡翠や川の淀を行きもどり　霧笛

川蟬の魚ねらひゐる入江かな　閑月

川蟬の低うとび去る雲の小凉にも注意せざ　一夢

川蟬に淵は音なく波紋かな　同

川蟬や何に驚く雲の峯　松堂

古沈に川せみ居たり雨のち　滿壽壯

翡翠や水の面とんで柳かげ　霧笛

川せら月を崩して去りけり　萬袋

六月分兼題

梅雨　夏至　川狩　蝙蝠　合歓の花（三句吐）

六月二十二日（土）午後五時より天仙氏宅に開會

時間は成るべく御守り願ひたく、又句もその場で御つくりになるのでなく節以て御用意下さい直様清書の出來やう御願ひ致します、さうして餘りの時間で即席も試みたいものです

初夏の朝

平一　春山投

朝！朝！

僕は今新川の

堤に立つてゐる

そして廣々とした

田甫を眺めながら

種々な空想に

耽けつてゐる

紺碧の空は物靜かに

時々鳴く雲雀の聲が

のんびりと大空にひゞく

そして何もかも忘れて

此の大自然の風景に

見とれてゐる時

頭上の櫻の木の上に

戯れる雀に

此の空想は破られた

やつぱり僕は

新川の堤に

立つてゐた

……今日……五月七日

……明日……暦月新月

……吉日……舊七暦三日

死を超ゆる者

小說

（26）

三上於菟吉作

布施平八郎畫

二十四年前（四）

大八の聲からはだん〳〵ひ

くことあり▲五黄　墓岸の花の如く目に見へて手一入らぬ日▲六白　上べを飾れば飾るほど心は淋しくなるべし▲七赤　位置の高下を論せず辛抱して動かざるが吉▲八白　一時は元氣付けども後は又陰鬱に陷り易し▲九紫　初めは凶なれども刻々と吉運に向ひ行くべし

中部屋の中を負ふつて歩いたこともあつたよ……可哀想な親なし子だと思つてね、そして夫人も亦貧しくて有馬家へ歸つてしまつたのちや、ちや今俺は有馬

たことをあつたよ……可哀博士を惡く言つたが博士とすれば川本一家からはたてその當座誰の眼にも可哀想だつたその赤ン坊は却つて仕合せになつたのだがその子を捨てた先生一家はたゞ女を潔白な處女と信じさせられたのだから、老先生を見捨てること位は罪でもない樣に思はれる、どにかく貴樣に一度いゝ機會があつたならばこの話はよく

「俺達はその子を育てゝ來へ博士自身現在でも知られないでゐるとしてもひどいと大八は言葉をついだ

「靜さんは立派な婿君をへて靜さんが亡くなつてしまひました」

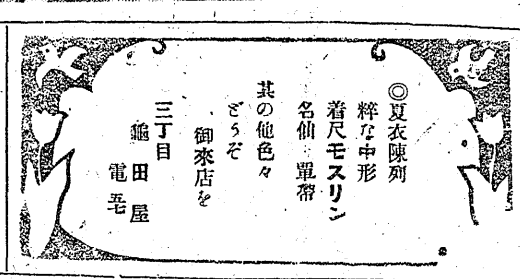
と夫人は側から靜かに口を挟んだ

「どんな人にも負けない樣な立派な人にしようと思つて私はその子供を育てることだけを仕事にして來たようなものでした」

「そこで勇」

と大八はいかつい口調になつて言つた

「俺は貴樣に自分の子でないことを卒直に宣言したからと云つて、それだから今後貴樣の一身上に就いて責任を持たんとは言はん、たゞ先程も云つた通り、貴樣が十二三になると順造といふ次男、俺たちの長子が臣衆たのぢや」



生花教授

池ノ坊流　生花を懇切叮寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。

平町十五丁目通り

須藤まつの

診療時間

夜間診療

松村胃腸病科醫院

（平南町電話一〇七番）

胃腸　内科　十二指腸虫病　専門部

花柳病　淋病　婦人病　皮膚病　外科　専門部

諸根樟一編纂

『福島縣文化研究』第一刊

此一篇は、福島縣に於ける文化的な研究に關する發見的資料にして、舊本縣の客觀的に貴重なる點、其の末端的な史料及び論文等を分類して逐次刊行する者である。

福島縣文化研究會

本縣内に於て近世以來現代まで發行の圖書、又は先哲の遺稿或は寫本、刊本の類約一千種の目錄を記す。實に是れ、本縣文化研究家及び學校等にとりて絶好なる必備書なり。

四六版每冊六十頁内外、九ポイント活字組、一冊四拾錢、郵稅二錢（次刊豫告『會津初政史料』）

福島縣平町田町一番地

發行所　福島縣文化研究會

（印刷は凡て東京に於て爲す）　電話八百番　振替東京一五六番

レコードハ此のマーク！を

肉聲のビクターレコード

販賣店　會田時計店

平町四丁目（電話三六三番）

店員募集

平町田町

高久病院

電話五一三番

醫學士　高久忠

新潟醫學士　赤羽清

藥劑士　佐竹菊雄

内科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科、

ユラノスケ　粕取燒酎

（六月一日ヨリ發賣）

二合白瓶一本　二十五錢

（從來通り空瓶交換仕可候）

平町四丁目驛通り

永山酒造店總發賣元

電話二〇七番

貸地廣告

平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店。諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします

御希望の方は電話なり葉書なり御一報して親しく御相談に應じます

小名濱商事株式會社

平出張所

電話　六〇三番　五四一番

貸室　末廣

電話二一

内科、小兒科（院長每日診）

院長　醫學博士　難波睦

副院長　醫學士　五十嵐雄次

内科部長　醫學士　中西林藏

外科一般

外部長科　醫學士　氏家憲介

每日曜手術　醫學博士　桂重次

産婦人科、女子泌尿科

産婦人科部長　醫學士　五十嵐雄二

顧問　醫學博士　川添正道

× 光線科

主任　醫學博士　難波睦

本院醫事法學士　岡蕃

法制囑託

本院主醫　賀澤忠治

御大典記念事業トシテ

一、衛生試驗所（共濟病院内）

一、病氣相談所（共濟病院内）

一、救療所（共濟病院内）

磐城　共濟病院

看護婦見習募集　平町電話六四一番

外科一般（入院隨意）

内臟外科專門

花柳病科

平町六丁目（橋際）

木村外科醫院

電話三〇九

初夏です

貴女方の旅行に外出に

パラソル！

日傘！

それへ華奢な扇子を御持ちでしたらどんなに御似合でせう

1•50……

……•38　扇子

——1•80　パラソル

2•50——1•35

3•50——1•80　日傘

ヤルツ

平町田町

特約店　廣瀬支店

電話五四番

新レコード着荷

コロンビア邦樂レコード

現代劇　受難華　二枚　水谷八重子　花柳章太郎

映畫小唄　柳永二郎

省掛小唄　一枚　大河内傳次郎

映畫小映　其他

燃へるの唄　一枚　川崎豐

島田晴雲氏指揮　松竹管絃樂團伴奏

追々夏らしい氣分になつて參りまして愈々蓄音器のシーズンが近付きました。此の機會に於きまして弊店では右の如き特別發賣を致す事に致しました。何卒御用命下さる樣

特に蓄音機の修繕は安く良く早く

平三　**大谷時計病院**

電話一九番

田中内閣總辭職

二日午前九時五十分に

參內辭職書捧呈

〔東京電話〕田中首相は二日午前九時五十分閣員の辭表を取纏めて參內し內閣總辭職書を捧呈して退下したが午後一時より二時までの間に後繼內閣の首班に對し大命降下の模樣である　（午前十時半着電）

豐間校新築

工事認可の申請

石城郡豐間村では工費三萬圓を計上して小學校を

仕始末に困る

睡眠銀行

斷然營業停止

石城郡地方の金融業界は昨年の大動搖以來少數の有力銀行をのぞく外は殆むど營業休止の狀態にあり表門扉を開いてゐるも實質は全く休業同樣にして手形を提示すると「當手形は振出人と交涉濟みに付き支拂ひに應じ兼ぬる」の拒絕書を貼付して突き返すなどの苦肉手段を弄する某銀行の如き睡眠銀行に對し大藏省銀行局では今後斷然營業取消し命令を發し之れ等睡眠銀行を一掃する事に決定したが現在全國の普通銀行數九百九十六行中休業中のもの四十行あり更にその內所謂睡眠行として營業停止命令を發すべきもの四十行の多きに達してゐると

平町會の異議申請

取下の仲裁案

けふ最後の委員會で

結局否決の運命

平町會選舉異議申立に關する最後の委員會は今二日午後一時より水道部樓上に開き決定を與へたる上更に明三日乃至四日中に本會に移し議決する段取りであるが本稿締切り迄には如何とも決定しないか大体に於て否決されるらしく觀測されるも一方仲裁者が現はれ異議申立人の面目を立つ意味の變換條件を附して該申請を議會に取り下げしめんとするものもあるらしいが未だ何れとも決定しない模樣である

個人の土地に

町の道路

當局一本參る

平町と赤井付方面との交通の便を圖るため約七八年前當時の赤井軌道株式會社が平町城山裏を通つてゐる同社の軌道路を平町に寄附したので平町では直に改修して七千圓を計上して小學校をゐるが最近に至りその道路新築することに村會に於て附近に土地を有するものが決議をなし本年三月中に縣土地整理のため實測したところ右道路が寄附の境界線を超へて他の土地に喰ひ込んでゐる事が發見されたので地主が非常に憤慨し何の同村漁港の修築は工事の縣認可を受けて着工する事が出來ないので同村助役と共に漸く說得し今後石城郡內に於ける副業として養蠶は發達は相當期待されてゐるが有望だと知つて我も〳〵と養鷄に手を出す者が逐日非常な勢で增加してゐるに比較して販路が依然として擴張されて居ず僅かに地方だけ販ぐ口であるだけ郡內の鷄卵價格な漸次安値となつて昨今では上物貫二圓內外と言ふ但落振りであるが今後此の儘で推移する時は折角好望と期待されてゐる

郡下の養鷄業も順調するのではないかと憂慮されるに至つたがこれに就いて石城郡內の冷凍事業唯一の會社たる磐城水產工業株式會社では鷄卵の冷凍が行はれ何れも良好な成績を上げてゐるが此の副業中も子成績を收めてゐる

鷄卵の多量生產と

冷凍による保存法

小野晉平氏の談

近年各國的に疲弊し切つてゐる農村の振興策に就て石城郡農會では早くも數年前から農村救濟を計畫し今郡下を農村の理想鄉たらしむべく着々その目的に向つて計畫を進め一般農事の改良共同事業奬勵等は勿論農村の福祉增進の唯一法として各種の副業を奬勵し今日では養鷄、養豚、養兎その他の副業が可成の成績を收めてゐるがこの副業中も各戶毎に冷藏庫を備へ鷄卵の保存に努めたら本郡の養鷄業も今後一層躍進を見るだらうのは養鷄業で全郡內に亘つて廣く行はれ郡南方面では勿來町の養鷄組合を始め平町その他三、四の養鷄組合が創立され何れも養鷄業の改良に努めてゐるので今後石城郡內に於ける副業としても養鷄は發達は相當期待されてゐるが有望と見られてゐる

此の養鷄業も昨今打續く不景氣風と有望だと知つて我も〳〵と養鷄に手を出す者が逐日非常な勢で增加してゐるに比較して販路が依然として擴張されて居ず僅かに地方だけ販ぐ口であるだけ郡內の鷄卵價格な漸次安値となつて昨今では上物貫二圓內外と言ふ但落振りであるが今後此の儘で推移する時は折角好望と期待されてゐる

郡下の養鷄業も順調するのではないかと憂慮されるに至つたがこれに就いて石城郡內の冷凍事業唯一の會社たる磐城水產工業株式會社では鷄卵の冷凍が行はれ何れも良好な成績を上げてゐるが此の副業中も子成績を收めてゐる

今日では養鷄、養豚、養兎その他の副業が可成の成績を收めてゐるがこの副業中も子成績を收めてゐる

近年各國的に疲弊し切つてゐる農村の振興策に就て石城郡農會では早くも數年前から農村救濟を計畫し今郡下を農村の理想鄉たらしむべく着々その目的に向つて計畫を進め一般農事の改良共同事業奬勵等は勿論農村の福祉增進の唯一法として各種の副業を奬勵し今日では養鷄、養豚、養兎その他の副業が可成の成績を收めてゐるがこの副業中も子成績を收めてゐる

六月末日現在の

平の戶數人口

二萬六千人四千七百戶

役場が調査發表

平町役場統計課では市內の居住人口、戶數並に職業等について詳細な調査中であつた處々完了したが六月末日現在の人口二萬六千二八九人、戶數四千六百六十八戶で內譯左の如し

△現住人口

男	一三、四八五
男	一二、八〇四
計	二六、二八九

△職業別戶數

農業	一六二
工業	七七四
商業	一、三四一
鑛業	三
交通業	五二八
公務乃至自由業	六二八
其他有業者	九〇八
家事使用人	五六
無職業	二〇四
計	四、六六八

勿來町議選

期日愈々接迫

勿來町會議員立候補は川部植田の兩村の終了日限切迫と共に漸く睨み合の喧々飛橫槍が表面化し各屆出での上立看板に勇ましく文書戰は開始され定員超過三名であるが決定された候補者氏名左の如し

園部里次（窪田再）青天目信次郎（窪田再）赤津庄森、星各醫師に就き修得中兵衛（同再）赤津修一（窪田）石川文勝（同）鈴木定助（同）横山太一（大高再）楢田平右衛門（大高再）鈴木市藏（道山）小松章（道山再）篠の如きもの

平町理髮研究會が

初めて學術試驗

實川、大森、星の講師

合格發表は廿日

△廿六日實川醫師課提病原菌の名稱、消毒方法の種類、如何なる水が飲料に適するや、井戶水の簡易なる消毒法、換氣方法

△廿七日大森醫師課提潛伏期とは如何なるや、結核豫防法

△卅日星醫師課提顏面各部の名稱、皮膚の生理的作用、顏面筋の重なるもの三つ、白血球の作用、消毒藥の名稱

尙明三日は口答試問がある同港防波堤その他諸岸工事用砂利採取に就き平土木監督所と協議中であつたが

平町理髮青年研究會では去る一月より平理衛生等の必須なる學術を平町實川、大森、星各醫師に就き修得中であつたが此の程第一回卒業生を見る事になり去月二十六、七、卅日の三日間學術試驗をなしたが問題は次の如きものであつた

◇藝者にも試驗を課する統一

△職業別戶數

農業	一六二
工業	七七四
商業	一、三四一
鑛業	三
交通業	五二八
公務乃至自由業	六二八
其他有業者	九〇八
家事使用人	五六
無職業	二〇四
計	四、六六八

勿來町議選

期日愈々接迫

勿來町會議員立候補は川部植田の兩村の終了日限切迫と共に漸く睨み合の喧々飛橫槍が表面化し各屆出での上立看板に勇ましく文書戰は開始され定員超過三名であるが決定された候補者氏名左の如し

園部里次（窪田再）青天目信次郎（窪田再）赤津庄森、星各醫師に就き修得中兵衛（同再）赤津修一（窪田）石川文勝（同）鈴木定助（同）横山太一（大高再）楢田平右衛門（大高再）鈴木市藏（道山）小松章（道山再）篠の如きもの

鰹漁愈々本調子

水色、餌附ともによく

石城濱活氣付く

石城沖の鰹漁は愈よ盛期で各濱共に豐漁を示してゐる事になつたので縣から石城川屬官來郡し一日から四食が、水試船磐城丸に於ける最近五日間の漁場調査によれば廿五日から廿六日の採魚には魚群を認められなかつたが廿七日小名濱東南東百廿五海里で百廿海里の區間で「トロミ」の大群を十餘回發見せしも天餌多き爲め餌につかず、こえて廿八日同沖東微南二分一南百五十海里水温廿度半水色良好、海區に於て「ハネロ」群の濃厚なるものに出會し鰹一千二百餘尾を漁獲し廿九日歸港したが、目下の漁場は小型鰮の餌料であれば相當の漁獲に見込あるも魚群は朝夕でなければ表面に浮游しない、且つ曳繩に鰆長がかゝるから注意を要すると

農業統計講習

石城郡內に於ける農業統計調査は今年九月一日より實施さ

濱三郡の

少年野球

來る十四日開催

いはらき新聞社主催の郡下少年野球試合は從來秋季に擧行されてゐたが今年は繰上げで來る十四日午前十時より平町警中グランドに於て開催し之を全國少年野球大會の第一次豫選會とし廿八日午前十時より同所で擧行する濱三郡少年野球大會を第二次豫選會となし全國大會出場選手を決定する事になつたが昨年濱三郡對校試合優勝旗は高等科內郷小學、尋常科綱社保健になつてゐるが野球シーズンの魁として期待されてゐる

中等校野球

來る廿一日決勝

同業磐城時報社主催の縣下四中校對抗野球試合は決勝戰中、安積のドロンゲームとなつてゐたが來る廿一日磐中グランドに之が決勝をなす筈

團体の戶惑へ

平署に追ひ立を食つて

委員出福陳情

平警察署の移轉に對する元より〳〵同海岸に近い鮫川から郡役所改築工事が去る三十日より行はれたので同役場內に事務所を設く各種團体では遂當り行き場所に困るので一日各種團体長會議を開き協議を重ねたが縣當局からは各種團体は取敢ず元郡役所會議室に移轉すべしとの公文書の命令があつたのでやむなく移轉することにしたがしかしその後どこへ移轉するかは未知の問題なので兎に角今後の方針について縣に意向をたゞすことゝなり近日委員が出縣する

勿來の繭市場

勿來繭市場は二十八日を以て閉鎖したが本年取引商は白繭四千六百〆黃繭二千貫で金額五萬三百七十五圓でその多くは信州および上州方面へ移送された

築港の砂利

鮫川から採取

小名濱築港修築事務所では

赤井村議選

きのう執行さる

赤井村々會議員の選擧は昨一日行はれたが同夜午後十時開票の結果左の如く當選した

羽賀政雄　高木綱次　田久彌七　大角金藏　草野三郎　矢野采女　菊地留太郎　木田仙次郎　柴崎治雄　鈴木隆衛　鈴木義晴　鈴木甚次郎

迷ひ兒の

鳩ポツポ

中野の軍用

石城郡高久村大字神谷作字古屋鈴木泰輔方屋人齋藤四郎（二三）は去二十九日午前十一時頃附近の畑地を歩行中中野軍用と標識のある鳩が迷つてゐるを發見し平署に届け出たなほ一日午前七時頃平町月見町根本房吉方の物置小屋の屋根に傳書鳩一羽がしほれてゐるを發見や落に届出たので調べるとこゝ狩吉太郎、船生庄治郎、鈴木倉次佐助（赤井）宮內喜作、猪

濱口雄幸氏に

大命降下

直ちに組閣準備

（東京電話）田中內閣總辭職により後繼內閣につき二一午後一時民政黨總裁濱口雄幸氏は御召によつて參內後繼內閣組織の大命を拜授して退下し直ちに組閣の準備に着手した　（午後一時二十五分着電）

安全第一
諸債券、公債ノ御用ハ迅速簡易ヲモツトートスル弊店ヲ精ニ御利用クダサイ
營業課目　勸業債券　復興債券　兩替　金融　公債其他　質物一般　取扱
多田井商店
平町大工町

お知らせ
この度び十五丁目二十二番地（舊郡役所東側池のほとり）に轉居いたしましたお知らせいたします
鈴木昌雄

ナツフク
小學生　中學生
一年生　八十錢　一年生　貳圓四十錢
二年生　九十錢　二年生　貳圓五十錢
三年生　一圓　三年生　貳圓六十五錢
四年生　一圓十錢　四年生　貳圓七十五錢
五年生　一圓貳十錢　五年生　貳圓八十五錢
平町四丁目停車場通
正札堂

營業目種　內地材　材木各種、羽柄材各種建築諸材請負　礦山用坑木其他諸材請負　外材部　米松、米杉、大角製材調達請負其他
佐藤材木店
常磐線平町新川町
電話三三五番

新築移轉
耳、鼻、咽喉科
合津醫院
平町仲田町七一（電話五五九）

入院隨意（自炊の便あり）
X光線科
外科專門
平南町
上田外科醫院
電話一一九